

みんな

市民とあゆむ

議会の

ひ

ろ

ば

おかや市議会だより Okaya City Assembly News

2024年（令和6年）1月25日発行

No.34/2024 Jan.

高校生が見つけた岡谷の魅力

第二弾

P.16

「春のトンネル」岡谷東高校写真部二年

あかはね 赤羽
さえか 沙恵花さんの作品



対談

特集

令和5年度 行政視察報告
議長・副議長 監査委員 新春対談

P.8

P.9

P.2

令和6年 新年の抱負 漢字一文字とその思い

巻頭トピックス 「三役新年を語る」

司会 本日は、三役新年を語るというところで、岡谷市議会の三役からこれからの岡谷市議会について語っていただきたいと思っております。まず、正副議長さんから仕事の内容、充実感や苦慮している点についてお聞かせください。

今井議長 議長としての活動は様々な場へ出向く機会をいただき、より地域の方々を知ることにつながっており、また、全国の他自治体の取り組みや議会活動を知る機会もあり、当市議会としての可能性を更に実現していきたいです。

小松副議長 議長の補佐はもちろんです、議長を経験させていただいているので、これまでの経験を今井議長にお伝えすることもできますし、議長としての気持ちもよく理解しているつもりです。また、他の議員のまとめ役や相談役としての役割も大きいと感じています。

司会 監査委員さんはいかがでしょう？

中島監査委員 監査委員は三人いますが、議会選出なので議員視点で、数字よりも事業の取組みを

主にチェックしています。市政の活動実態がわかるので、より細かい部分で市政を捉えることができるのが魅力かな。但し、資料提供が監査日程に対し余裕がなく、数字の拾い出し等にあまり時間がないのが頭の痛いところですね。

司会 令和5年は市議会の改選が行われ、また、新たに早出真市長が就任されております。次年度からは第5次岡谷市総合計画後期基本計画もスタートいたしますが令和6年の抱負をお聞かせください。

議長 地方自治法改正により基本構想策定義務付けが廃止になり、地方分権の観点からも計画の自主性や創意工夫が期待されます。これから行われる事業も成果を意識した政策立案につながるよう議会機能を発揮していきたいです。

副議長 岡谷市が抱える課題はいくつもありますが、やはり駅前、駅周辺の開発は特に注目しています。まちづくりのための再開発など、令和6年以降岡谷市が大きく変わると思っていますので、議会と

しても最大限協力をしていきたいと思っております。

監査委員 監査になって二年目というところで監査のやり方や仕組み、監査のポイント等をこれまで学んできたところですが、監査も巡るので令和6年度は監査すべきポイントを確認にして、過年度の実績とも合わせた中で、総合計画や各実行計画の内容にしっかりと照らし合わせた監査ができればと思います。

司会 岡谷市議会では議会改革も積極的に進めておりますが、今後のポイントとなる事項をどの様にお考えですか？

議長 開かれた議会を推進すべく「情報オープン化」「住民の参加」「議会機能強化」に重点を置いた議会改革に取り組んでまいります。さらに、議員のなり手不足解消に向けた取り組み、次世代へ向けた主権者教育等一定の方向付をしていきます。

副議長 議員定数についての検討です。人口減少あるいは昨年の統地方選挙時の無投票などを考えると議員定数の検討が必須と

考えています。市民に理解していただける結論を導き出していくことが必要であると思っております。

監査委員 監査委員ですが、議会改革検討委員会の副委員長でもあり、委員長に協力して議会改革を進めていきたいと考えています。特に、市議会議員改選時の定員割れは大変に大きな問題で、議員がいないと議会が成立せず、議員の質の確保も含めたなり手不足解消への議論を早急に進めたいと思っております。

司会 日々の議員活動や議会運営にお忙しいと思いますが、日頃のストレス解消など余暇はどのように過ごされていますか？

議長 睡眠、音楽鑑賞、料理など、特に料理は季節の食材を無駄なく消費するためのレシピを検索しながら使い切ることに達成感を感じています。

副議長 飲食ですね。先輩や仲間と交流を深め、おいしいものを食べて、「また頑張るぞ」と鋭気を養っています。また、家族との出かけで、家族サービスをします。

発散になっていきましたが、年齢的に身体が動かなくなったりことや興味なくなってきたことから何かをしてストレス解消しようというモチベーションが無くなってきたことがあるのかも…



司会：早出すみ子
広報広聴委員会副委員長



左から、今井善議長、小松副議長、中島秀明監査委員



今井 康善 あらゆるご縁を大切にしたい、飛躍への一歩を！
秋山 良治 過去から新しきを発見、発信、発車オーライ！
土橋 学 市議として奮闘し、市民の幸福を追求します。
花岡 健一郎 全ての皆様が元気で暮らせますように。
山崎 仁 安心で安全なまちづくりと安い物価の安定



小松 壮 一人でも多くの人々が喜ぶような活動がしたい
藤森 弘 生活が楽になり住んで楽しい岡谷にしたい
宇野 香二 報恩感謝の心で縁する人を大切にしていきたい
田村 みどり 自分に与えられた役目に真っ直ぐ取り組む!!



酒井 和彦 民主主義の心を忘れずに市政に取り組みます。
上田 澄子 何事も初めの一歩から、一歩一歩を大切に！
早出 すみ子 平和 調和 和音2024年これで生きましょう！
今井 浩一 ささやかな一歩を踏み出すささやかな勇氣



渡辺 太郎 旺盛な心持ちで「今日より明日へ」清廉格闘！
吉田 浩 長じて変化に動揺しない、落ち着いた心を保つ
中島 秀明 コロナ禍後の経済や生活の正常化への再始動！
笠原 征三郎 平和で健康、安心して暮らせる社会を目指します
丸山 善行 オリンピックイヤー、自らも積極的に挑戦していきます！

※順番は議席順です。

令和5年
第5回定例会(12月)
ダイジェスト版

ズバリ! 市政に問う!

質問	議員名	ページ
早出市長が初めて取り組む予算編成への思いとは?	田村 みどり	4
マンホールトイレの概要と設置状況は?	丸山 善行	5
岡谷市営住宅の用途廃止団地の敷地面積は?	渡辺 太郎	5
岡谷市での過去5年間の出生数の推移は?	上田 澄子	6
イルフ童画館25周年記念事業の様子は?	今井 浩一	6
学校給食費無償化について、選挙公約に掲げた考えは?	酒井 和彦	7
冬季の路面凍結事故を減少させる対策は?	土橋 学	7
児童扶養手当受給世帯の推移は?	早出すみ子	10
シルキーバスの利用者はどのような目的なのか?	山崎 仁	10
岡谷市やまびこ国際スケートセンター存続の是非は?	藤森 弘	11
ジェンダーギャップ解消による人口減少対策は?	宇野 香二	11
第5次岡谷市総合計画の展望人口については?	秋山 良治	12
保育士と調理員の確保状況は?	吉田 浩	12

一般質問

●議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は、“くじ”で決めています。

▶ 岡谷市公式チャンネル

★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることが出来ます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



Q 早出市長が初めて取り組む予算編成への思いとは?
A 令和6年度は、初の予算編成となることから、本市のまちづくりを改めてデザインするため、柔軟かつ斬新な発想で施策を構築、展開して参りたいと考えている。

Q 将来的な財政規模も縮小傾向が見込まれる中、新年度予算編成での対応は考えられているのか?
A 新年度予算編成における、歳出の見積もりにあたっては、前例にとらわれない抜本的な見直しを実施するなど、全ての事務事業について検証を行い、最小の経費で最大の行政効果や市民満足度の向上を図られるべく編成作業を進めている。

田村みどり

休日の部活動の地域移行

Q 本市における、休日の部活動の地域移行の取組状況と見通しは?
A 令和5年6月に部活動の地域移行に関するアンケート調査を児童生徒、保護者、教職員に実施し、それぞれの立場での意見や心配の声などを把握できた。休日の部活動の地域移行は多くの課題があるが、できることから取り組んでいく。

Q 開通予定時期が変更となった工事箇所の地元への対応は?
A 開通予定時期が一年以上遅れることとなる地元小坂区の皆さんには「ご不便やご迷惑をおかけする期間も長くなるが、安全を第一に、事業主体である長野県なども適切かつ丁寧な対応に努め、一日も早い開通に向けて事業の進捗を図っていく。」



生徒の思いを優先した地域移行を!

Q 岡谷市としての犯罪被害者支援の施策の考えと今後の予定は?
A 犯罪の被害は誰にでも起こりうることであり、もしもの場合に市民を守り、支援する条例の制定が必要であると考えている。今後は、条例の骨子案についてパブリックコメントを実施した後、その意見を踏まえ、次の3月議会に提案する予定である。

Q 用途廃止団地の解体後の跡地利用の考えは?
A 高尾住宅は来年度中に建物の解体を完了させたい。解体後は広大な敷地の全てが立地適正化計画の居住誘導区域外となることから跡地利用は用途地域も踏まえ、多方面からの研究・検討が必要となる。

渡辺 太郎

Q 岡谷市営住宅の用途廃止団地の敷地面積は?
A 老朽団地住替え事業が完了した高尾住宅は約1万9千㎡。小萩住宅は約1350㎡。用途廃止を予定している7住宅の合計では約4万6300㎡となっている。

渡辺 太郎



Q 部活動の地域移行の検討は?
A 国では令和5年度から7年度までを改革推進期間として位置づけているが、本市の実情に応じた取り組みを進めていきたい。

丸山 善行

Q ウォーキングの効果等は?
A 体脂肪の減少による肥満解消や中性脂肪の減少、血圧や血糖値の改善等に効果があるとされる。

Q 奏側の公衆トイレ増設の検討は?
A 小坂湖畔公園は県とトイレの新設を含め協議・検討をしている。

Q 足ドックの考えは?
A 定期的に足の機能をチェックすることは大切であると考えている。現時点で足ドックは実施困難だが健康寿命延伸の施策推進の中で必要に応じて検討していきたい。

Q 楽器の購入や管理等の現状は?
A 各学校では概ね20台から30台の楽器を保有し、学校の備品は学校の予算で、個人所有の楽器のメンテナンスは家庭にお願いしている。不足している楽器の充足は、民間活力に



岡谷市/イルフ童画館



丸山 善行



Q マンホールトイレの概要と設置状況は?
A 下水道総合地震対策事業における、総合的な地震対策を推進するための事業で、必要な250基のうち107基を整備予定で、学校を中心に現在51基整備が完了している。

Q 消防団ポンプ車の使用年数の目安と配置基準は?
A 概ね30年を目途に更新予定で、「消防ポンプ車」と「災害対応型多機能車」の2種類の車両を、地元分団の意向を取り入れ計画的に配備している。

Q 機能別団員の役割は?
A 消防団員の確保を行う観点から平成18年に創設、日中の火災対応以外に若手団員の教育にも対応し、現在7個分団に31名在籍している。

Q 機能別団員の報酬等待遇は?
A 身分は消防団員と同様で階級も団員となり、年額報酬、出勤報酬および退職報奨金、公務災害補償も消防団員と同様である。

Q 防火水槽の数と管理状況は?
A 302基を市内各地に設置し、消防署が年1回の点検と消防団による月1回の点検を行い、目視確認、減水、標識板等の点検で不具合等あれば早急に対応している。



マンホールトイレ

Q 防火水槽の耐震化状況は?
A 耐震化防火水槽は58基で全体の19.2%。国の耐震化の基準等ないが、今後も耐震性のあるものに更新を行いたい。

Q 新規創業者の現状と創業支援
Q 市内創業者の現状は?
A 令和元年から令和5年11月末で日本標準産業分類の大分類別で12業種114者が創業し男性が86人、女性が28人。創業における相談件数は年1000件程度である。

Q 創業支援の取り組み内容は?
A 創業準備期は相談対応、創業支援事業等ブラッシュアップ支援や創業後の補助金、融資等資金面や不動産情報の提供をしている。

Q テクノプラザおかもやまのぐりぐりフェア2024の取組状況は?
A 昨年同様の施設と新たにイルフ童画館を加え体験型ワークショップ、施設ごとの企画展、商工会議所によるイベント等を実施予定した。

Q 昨年同様の施設と新たにイルフ童画館を加え体験型ワークショップ、施設ごとの企画展、商工会議所によるイベント等を実施予定した。

Q 昨年同様の施設と新たにイルフ童画館を加え体験型ワークショップ、施設ごとの企画展、商工会議所によるイベント等を実施予定した。

Q 昨年同様の施設と新たにイルフ童画館を加え体験型ワークショップ、施設ごとの企画展、商工会議所によるイベント等を実施予定した。

Q 昨年同様の施設と新たにイルフ童画館を加え体験型ワークショップ、施設ごとの企画展、商工会議所によるイベント等を実施予定した。

Q 昨年同様の施設と新たにイルフ童画館を加え体験型ワークショップ、施設ごとの企画展、商工会議所によるイベント等を実施予定した。

Q 岡谷市での過去5年間の出生数の推移は？

A 出生数は、わずかに増となった令和元年を除き減少が続いている。原因は、出産期相当の女性人口が減っていること、未婚率の上昇が影響していると捉えている。



上田 澄子



Q 妊産婦に対する支援は？

A 妊産婦は妊娠届けを出した時から出産後まで面談、電話相談、オンライン子育て相談、健診の公費負担、出産・子育て応援給付金の給付などを行っている。

Q 貧困率の高いひとり親家庭への支援は？

A 支援制度については14項目実施している。また、児童扶養手当受給者を対象にアンケート調査を行い、それをもとに生活実態やニーズの把握にも努めている。

Q 一時預かり・ショートステイ等の支援は？

A 一時保育、病児・病後児保育、休日保育、ショートステイ等の体制を整え支援している。

Q 保育士の待遇改善については？

A コロナ禍では通常以上の業務が必要となったが、職員不足に対し

ては他園からのサポートなど流動的に対応した。今回のコロナ対応の教訓を生かし、業務負担軽減につなげていく。

Q 2050年カーボンニュートラル達成への取り組みは？

A 蓄電システム導入補助金など支援している。一人ひとりの小さな取り組みを積み重ねる事が大事。

Q 再生可能エネルギー転換への問題と支援は？

A ガイドライン策定により再生可能エネルギー促進上の大きな問題は起こっていない。個人住宅や事業所にも支援を行っている。



子育て支援の充実を

Q 学校給食費無償化について、選挙公約に掲げた考えは？

A 一番の課題は人口減少、安心して子どもを産み育てられる環境を整えることがその対応策、給食無償化もその一手。財源の確保も同時に訴えてきた。



酒井 和彦



きるか？

A 国家間の協定なので、一自治体の首長の立場でどこにかできるものではないと考える。

Q 事故は起きるときには起きる。4年前の陳情に対して議員時代の早出市長が述べた意見の意味を聞きたい。

A 日米地域協定の見直しについては憲法9条や日米安保条約との関連性が深い。日本の安全保障の大きな枠組みでの議論が必要ではないかと考える。

Q 米軍機の事故で日本人が死亡した場合でもその尊厳が守られると言うささやかな願いに対しても改憲などと言う大層な話を持ち出す必要があるのか？

A 一自治体の首長の立場でどこにかできるものではないと考える。



日本の空を飛ぶ米軍機

Q イルフ童画館25周年記念事業の様子は？

A かがくいひろし展(6/15~9/16)、長谷川義史展(9/23~12/4)という人気作家の企画展は、11月末時点で両企画合わせて総入館者数は3万5千人を超えた。



今井 浩一



Q 武井武雄生誕130年の来年度の記念事業は？

A 目黒区美術館、石川県立美術館、一宮市三岸節子記念美術館で巡回展を予定。市内では有識者によるシンポジウムを開催する。

Q 武井武雄という地域資源の活用への考えは？

A 日本童画大賞の設立、全国巡回展などで全国的な知名度の向上、市民の誇りの周知と、武井武雄のブランド力向上に努めている。市では武井作品を様々な冊子や封筒で使用。テクノプラザおかやの壁面レリーフ、岡谷市民病院の病院サイン、市民の目に触れる街路灯や橋の欄干などにも多数使用。またあるき事業では「あるき太郎」を主要キャラクターに。イルフ西堀保育園では武井の世界観を生かした保育園整備を行なった。

【要望】 岡谷駅周辺の色褪せたラムラムのタイルを甃らせて。【ワーキングスペースの活用について】

Q 利用者の動向は？

A 令和5年度は10月末現在のべ539人が利用。1時間までが83人、1時間~6時間が235人、6時間超が218人、シェアオフィス入居者が3人。年齢層は任意のアンケートでは20代約22%、30代約22%、40代約35%、50代約19%、60代4%、70代2%。利用者が多い時間帯は15時から16時、複数回利用が令和3年度の開設時から130人で約25%だった。

Q 利用者の拡大の意向は？

A まちの活性化、市内産業の発展につなげるために開設。多くのビジネスパーソンやフリーランス等が利用。利用者数も年々増加中。テクノプラザおかやに設置された強みを活かして施設の情報発信に努めたい。



かがくいひろし展、長谷川義史展チラシ

Q 冬季の路面凍結事故を減少させる対策は？

A 冬季の道路交通の確保、日常生活や社会・経済活動を維持する対策として除雪マニュアルに基づき、除雪剤散布や除雪等を行っている。



土橋 学



Q 市民の除雪等の要請に対する対応は？

A 道路交通の確保を優先に考えている。状況によって、職員が直接対応する体制を整え対応しているが、すべての要望には添えない状況にある。

Q 天候不順時の休校や登校を遅らせるなどの決定基準は？

A 地域によって状況が違つ。市教委と学校間で連携して、安全を第一に判断を行っている。

Q 通学路における雪や凍結に対する安全対策は？

A 児童生徒に、冬場の登校時の注意など周知を行っている。

Q 冬季の高齢者支援

Q 冬場の高齢者の雪かきなどは？

A 行政ですべての高齢者の雪かきなどの日常的な支援は難しいと考ええるが、地域の支え合いによる様々な

生活支援に努めていく。

障がい者の雇用と社会参加

Q 障がいのある方の多様性のある働き方を市はどう考えるか？

A その方の希望や適性、求められる力などを考慮しつつ、納得できる働き方ができるよう支援している。

Q 働き方において障がいの特性に応じてどのような合理的配慮がなされているか？

A 体調面や働く面で支障がないか定期的な声掛けや個別面談を行っている。担当者を選任して円滑な意思疎通を図っている。

Q 社会参加でできるような取組は？

A 社会活動に参加する充実感、達成感は大切なものと考えている。物販売などの出店支援、スポーツ大会への参加、同行支援を行っている。関係機関や団体と連携し、積極的な社会参加に取り組んでいきたい。



高齢者の雪かき

特集 令和5年度 行政視察報告

総務委員会

◆視察の目的

総務委員会では、政策提言のテーマである「公民連携」と、ICTを活用した教育に関する視察先を選定した。

◆行政視察先

- ・三重県桑名市 「ICTを活用した教育について」
- ・三重県津市 「公民連携の庁内推進体制について」
- ・株式会社コーミン(大阪府大東市) 全国初の官民連携による市営住宅の建替え・再開発プロジェクト「morinekiプロジェクト」
- ・(公財)可児市文化芸術振興財団(岐阜県可児市) 「alamachi元気プロジェクトについて」



桑名市本会議場

桑名市ではGIGAスクール環境整備後に教育委員会が中心となり、授業での活用は「ICT活用推進プロジェクト」、校務での活用は「ICT環境整備ワーキンググループ」と役割を分け連携しながら推進している。



株式会社コーミン「morinekiプロジェクト」

株式会社コーミンは、公的資産を活用してエリア開発を進める「morinekiプロジェクト」として全国で初めてPPP手法を用いて、借上げ公営住宅・民間賃貸住宅の住宅棟、生活利便施設等の整備を行っている。

社会委員会

◆視察の目的

障がい者自立支援に向けての最新の事業所の現状把握と、子育て支援において全国的に注目される視察先を選定した。

◆行政視察先

- ・栃木県小山市 社会福祉法人「パステル」
- ・栃木県真岡市 WinGraffiti株式会社「わらくや」
- ・茨城県水戸市 「水戸市清掃工場 えこみっと」
- ・茨城県日立市 「Hiタッチらんど ハレニコ」



「社会福祉法人パステル」

障がい者の自立をコンセプトに福祉サービスを総合的に支援する多機能型事業所でカフェレストランを併設し、お蚕、桑栽培などを通じたブランド力向上に注力。年商はなんと12億円。障がい者が自立できる環境、体制を構築。



「Hiタッチらんど ハレニコ」

日立市は、子育て支援として学校給食やランドセルの配布等、充実した6つの無料施策を実施。また、駅前大型商業施設をリニューアルした、全天候型遊び場「Hiタッチランドハレニコ」など、本市駅前再開発の参考となった。

産業建設委員会

◆視察の目的

「地域資源を活用した観光産業の振興」をテーマとして、民間活力導入等の具体的な活用事例を参考に視察先を選定した。

◆行政視察先

- ・愛知県 名古屋市 「トヨタ産業技術記念館」
- ・愛知県 豊田市 「鞍ヶ池公園民間活力導入事業(Park-PFI)」
- ・静岡県 浜松市 「公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」
- ・静岡県 静岡市 「Park-PFI事業(城北公園)」



(公財)「浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」

DMOとして活動している(公財)「浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」では、自然、食文化、歴史遺産等の観光資源を活用したブランド推進やサイクルツーリズム等の事業内容、観光地戦略、組織体制について視察した。



「鞍ヶ池公園」

パークPFI(公園に民間投資を誘導し、公園の質や利便性を向上させる制度)として、鞍ヶ池公園(豊田市)と城北公園(静岡市)を視察。指定管理、パークPFI、DB方式(公設民営)の三位一体運営の方策や課題を学んだ。

児童扶養手当受給世帯の推移は？

令和元年：321世帯 令和2年：317世帯
令和3年：309世帯 令和4年：301世帯



早出すみ子



Q ひとり親世帯への支援については、児童福祉手当の支給・自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金・自立支援プログラム策定など全部で14あると聞いていますが、相談件数や内容は？

A 令和5年4月～10月までに343件あり、児童扶養手当等、経済的支援が202件。児童の教育が18件となっている。

Q こども未来戦略方針とは？

A 児童手当の拡充・所得制限撤廃。高校生世代までの支給。第3子移行3万円支給。年6回の支給。

Q 貸し付け制度はあるか？

A 12種類ある。学費等を貸し付ける修学資金や大学等への入学金等の就学支度資金で、これらは無利子での貸し付けとなる。

【要望】支援制度の周知徹底を。

【要望】帯状疱疹の予防接種の普及・啓発

Q 予防接種の周知・種類は？

A 任意接種ワクチンであり、市で

は周知していない。ワクチンは生ワクチンと不活化ワクチンの2種類あり、18歳以上が対象になる。

Q 費用は？

A 生ワクチンは6千円から8千円、不活化ワクチンは2万円から2万2千円で一律ではない。

Q ワクチン費用の助成は？

A 国、県は定期接種化にむけた検討をしている。

【要望】費用の助成実現を。

Q 小中学校におけるジェンダー平等

A 名簿は氏名の50音順。制服はブレザー、スカート、スラックスで個人の判断で着用する。更衣室は男女別々の場所がある。教科書等に性別に関わりなく、個性や能力を発揮できる場が学校である。

【要望】生徒の声を聞いて欲しい。



ひとり親世帯のSOS

岡谷市やまびこ国際スケートセンター存続の是非は？

A 「岡谷市公共施設個別施設計画」では、「施設譲渡や休止、廃止を含めて検討していく施設」として位置付けており、引き続き方針決定に向けて協議して行く。



藤森 弘



塩嶺御野立公園周辺の現状

Q 「岡谷市塩嶺野外活動センター」の利用状況は？

A 市民が自然に親しみながら野外における生活体験や宿泊体験を通じ、豊かな情操を培い、心身の健全な育成を図ることを目的に設置されている。子どもたちが社会性や協調性を学ぶ場であるとともに、まちの喧騒から離れることのできる憩いの場、スポーツ合宿などを通じた青少年の交流の場など多岐にわたる役割があり、市内外からの利用があるが、利用者数は年々減少傾向にある。

Q 「塩嶺園」の老朽化の現状と今後の対応は？

A 昭和54年に建築され44年が経過。水回り施設で一部使用できないなど、総じて老朽化が進行している。利用率の低下や施設の老朽化を勘案しながら必要性を検討し、令和7年度ま

での第1期岡谷市公共施設個別施設計画期間において方向性を決定する。

Q 岡谷市の水資源について

Q 横河川水系の水資源保護策の現状は？

A 横河川を流れる水は、古くから生活用水や農業用水などとして利用され、流域における市民生活に大きな恩恵をもたらしている。この大切な水資源の確保と保全のため、横河川上流域の森林において、水源かん養機能を発揮させるためのさまざまな取り組みを行っている。

小口太郎の顕彰について

Q 市で保存している小口太郎に関する資料はあるか？

A 昭和63年小口太郎顕彰碑建立の際に寄贈された小型の小口太郎ブロンズ像、ノーベル物理学賞受賞の江崎玲於奈氏に依頼して書いていただいた「琵琶湖周航の歌」歌碑の原本などがあ



貴重な岡谷の水資源

シルキーバスの利用者はどのような目的なのか？

A 乗降調査によると買い物、通院、通勤、通学が約8割となり、普段の生活の足において活用されている。



山崎 仁



Q シルキーバスは市内全域で運行されているが、どのような年齢層が利用されているのか？

A 利用状況については、調査員がバスに乗り込み乗客から聞き取りによる乗降調査により結果を得た。それぞれの路線全便について平日1日、土曜日1日実施したが、50歳以上が全体の約8割を占める。

Q これまで利用者増への対策、対応に関して、どのような取り組みを行ってきたのか？

A 回数券や1日フリーパス券の販売、バスの乗車方法や案内をホームページやYouTubeで公開、観光客を含め利用者がグループマップ検索時の案内のデータ整備、わかりやすい時刻表の発行などを行っている。

Q 主な利用者である高齢者、これからの利用者となる子どもたちへ向けての取り組みは？

A 高齢者は65歳以上の運転免許証

自主返納者に36回分の無料乗車券の配布、字の大きさや色使いに慮した時刻表の作成、低床バスの導入。子どもたちには、保育園児にシルキーバスの体験乗車や、車内に園児の塗り絵を飾るシルキーバス子ども美術館事業を実施した。

Q 現在、岡谷市地域公共交通計画の策定を進めていると聞いているが、どんな内容となりそうか？

A 策定中の令和6年度から令和10年度を計画期間とし、利便性の高い公共交通ネットワークの形成、持続可能な地域交通の実現、少子高齢社会やゼロカーボンへの対応の3つを柱としている。

具体的な施策として、利用啓発活動などのソフト事業、ダイヤや路線の改善、車両のバリアフリー化となっており、パブリックコメントを現在実施している。市民からの意見を伺った上で、年度内に計画決定を目指す。



シルキーバス乗車客

ジェンダーギャップ解消による人口減少対策は？

A 若い世代、特に若い女性の転出超過が顕著であるとの認識の下、対策として女性だけでなく若者を選ばれる岡谷市を目指して、様々な施策を展開していきたいと考えている。



宇野 香二



奨学金返還支援と若者の移住促進

Q 岡谷市育英基金奨学金制度の内容と免除制度の拡充は？

A 大学等の学生に対する無利子の貸付制度であり、卒業後償還期間中岡谷市内に居住していた場合、償還額の25%免除する制度も設けている。免除制度の拡充は、庁内で議論を進めたい。

Q 長野県や諏訪市で支援している企業の奨学金代理返還は、企業にも自治体にもメリットがあるが、岡谷市としてはどうか？

A この制度は、企業の人材確保や地元就職を後押しできる制度であるが、まずは、県制度の周知に努め、県制度の活用を希望する市内企業の支援を考えていきたい。

Q おくやみ窓口の設置とおくやみハンドブックの作成

Q おくやみ窓口の設置は？



奨学金返還支援を!

することで、手続き時の時間短縮等市民サービスの向上が期待できる。先進自治体の取り組みを参考に、調査研究を深めたい。

Q おくやみハンドブックは？

A 死亡時の手続きが分かり易く、総合的な情報を得られると考えている。本市では、必要な手続きだけを案内する方法をとっており、更に分かり易い案内に努めたい。

地域防災力の向上と人材育成

Q 地域防災のためには、防災リーダーの育成が必要であり、その育成のために防災士資格取得費用の助成を再度要望したい。更に地域防災の中核である消防団の課題は？

A 団員確保が課題であり、処遇改善、安全確保、負担軽減を中心に継続的に取り組んでいる。

議員に会いに行こう! 市役所7階をご案内します。

新春対談・新年の抱負

一般質問

特集

一般質問

12月定例会

スタート!!



9時00分市役所へ登庁



登庁を知らせる掲示板



7階事務局へお声がけ下さい。



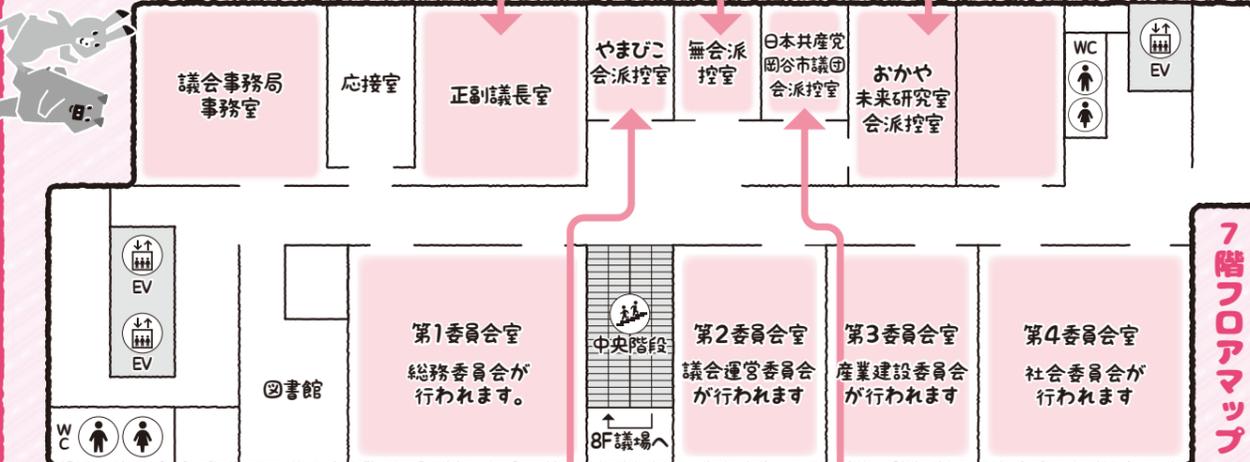
無会派の皆さん
田村みどり議員、酒井和彦議員、丸山善行議員



おかや未来研究室の皆さん
吉田浩議員、土橋学議員、秋山良治議員、渡辺太郎議員、宇野香二議員、藤森弘議員、今井浩一議員、中島秀明議員



正副議長さん方へ
今井康善議長、小松壮副議長



やまびこの皆さん
山崎仁議員、花岡健一郎議員



日本共産党岡谷市議団の皆さん
笠原征三議員、上田澄子議員、早出すみ子議員



この日は、午前中に第5次岡谷市総合基本計画 基本構想特別委員会、午後は全員協議会が開催されました。

Q 第5次岡谷市総合計画の展望人口については?

A 人口は、まちの活力を示すひとつのバロメーター。今後も人口減少の要因を的確に捉え、人口減少のスピードを鈍化させるための取り組みを進めることが重要と考える。



秋山 良治



展望人口について

Q 自然動態人口の減少を鈍化させるための施策の優先順位は?

A 健全財政を堅持しつつ、子育て支援の充実に取り組み。子どもを産み育てることを希望する若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを進める。一方で、健康寿命の延伸に向けた取り組みも必要である。

Q 2025年に団塊世代が後期高齢者となるが課題点は?

A 人口構造の変化は地域や産業の担い手不足、まち全体の活力の低下などが課題となる。少子高齢化に対応したまちづくりに取り組みが必要である。

Q 岡谷市に対する愛着について

A 岡谷市を「好き・どちちか」と言う



小学校3年生で副読本として使用

Q 子ども視点を「まちづくり」についての見解は?

A 子ども会議を開催。まちづくりを考える機会を経験することで、岡谷を愛し未来に夢を持つことに繋がると考え実施している。

Q 子ども視点を「まちづくり」について

A 子ども会議を開催。まちづくりを考える機会を経験することで、岡谷を愛し未来に夢を持つことに繋がると考え実施している。

「好き」と回答。また、「どちちともいえない」と回答した生徒が4割前後いる。今後も魅力と賑わいが溢れるまちづくりに取り組みたい。

Q 冊子「わたしたちの岡谷」を使った授業の詳細は?

A 岡谷に育つ子どもたちが、このまちの歴史や伝統、文化、人々のくらし、社会のしくみについて学ぶことのできる副読本として毎年小学校3年生に配布。4年生以降も調べ学習等で活用している。

Q 保育士と調理員の確保状況は?

A 毎年、保育士、調理員ともに予定外の退職などがあり、新たな職員確保に時間を要するため、1年間を通しての安定した職員の確保に大変苦慮しており、大きな課題であると考えている。



吉田 浩



Q 職員の負担感に、おむつの自園処理や除草、園舎清掃などがあるが、それらの業務の対応は?

A 各保育園における除草、窓ふき、除雪、大掃除については本庁舎や他の公共施設同様、職員が実施。おむつの廃棄は職員の新たな業務として、定期的にごみステーションに排出している。

Q おむつ処理の負担軽減は?

A 職員に意見を聞きながら、負担軽減への取り組みを検証し、業務の改善を図りたいと考える。

Q 業務負担に対し今後のICT化の推進の考え方、予定は?

A ICT化の推進は、保護者への情報伝達や資料作成などの効率化を生み、職員が園児に関わる時間が增加し、保育の質の向上につながることも、保育士の業務負担の軽減が図られ、働き方改革につ

Q 業務負担に

A 業務負担に

ながると捉えている。

保育業務の負担軽減に資するシステムの導入や機動的に作業ができるWi-Fi環境の整備など、ICT化の推進に向け今年度は先進地の視察をするなど研究を進めていくとあり、今後、保育士とともに検証していきたいと考える。

Q 市長は、保育環境の充実を掲げ、あわせて人材確保も一緒に進めていきたいと言っている。その思いは?

A 公約に掲げる「とも育ち」のまちを目指すにあたり、「安心して子育てが出来る環境づくり」には、子育て支援の充実を図る必要がある。その要素の一つに保育環境の充実を掲げている。公約の実現に向け、保育のベースとなる人材確保に努め、安心で安全な保育環境の充実を図っていく。



子どもたちと職員笑顔溢れる保育環境

令和5年 第5回定例会

主な議案の審査
審議結果

令和5年11月30日(木)から12月14日(木)までの15日間の会期で開かれ、報告案件1件、議案19件が審査されました。主な審査・審議結果は次のとおりです。

◆議案第90号 令和5年度岡谷市一般会計 補正予算(第13号)

本会議での提案説明(議案の内容)

今回の補正予算は、指定寄附金積立金、介護施設等整備事業補助金を追加するとともに、岡谷駅前開発ビル周辺支障木等伐採委託料、外字同定作業に伴う住民基本台帳システム改修、自転車ヘルメット購入支援事業、戸籍への氏名振り仮名追加に伴うシステム改修、民間一般乗合バス運行費等補助金、原油価格・物価高騰等への対応として、各種施設への価格高騰対策支援事業に必要な経費を計上するもので、総額867万3千円を追加し、あわせて、戸籍情報システム等改修委託料について、年度内に完了しないことから繰越明許費を設定する。

※本会議での説明の後、総務委員会、社会委員会、産業建設委員会に審査付託されました。

◆産業建設委員会への主な付託内容

民間一般乗合バス運行費等補助金は、市民の円滑な移動に資する民間の一般乗合バスの運行を確保するため、乗客の減少が続く岡谷茅野線について、令和4年度決算における専属営業損失に対し、運行経路となる4市町で支援を行う。総額1559万2千円のうち、岡谷市の補助額は、466万2千円となる。

※質疑の後、討論採決が行われ、それぞれの委員会では原案のとおり可決されました。

※審議の結果全会一致で可決されました。

◆議案第93号 令和5年度岡谷市一般会計 補正予算(第14号)

本会議での提案説明(議案の内容)

今回の補正予算は、原油価格・物価高騰等への対応として、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業、学校給食食材費高騰

臨時対策事業を追加するとともに、子育て世帯価格高騰対策支援給付金支給事業に必要な経費を計上するもので、総額4億636万3千円を追加する。

※本会議での説明の後、総務委員会、社会委員会に審査付託されました。

◆総務委員会での主な質疑応答

Q 学校給食会計負担金追加について、小・中学校ともに保護者の負担額を据え置いたまま、値上がり分を公費で負担するものだが、市長公約である給食費の無償化に向けて、公費負担額を更に増額し、段階的に保護者の負担額を軽減していくというのも一つの方法と思うが、可能かどうか、また、市長公約を踏まえてどのように考えているのか?

A 学校給食会計負担金は、現在の物価動向を踏まえた給食食材費の値上がり分を保護者に転嫁することなく、安定した質の高い給食を維持していくために公費により支援していくものである。学校給食の無償化については、先の一般質問での市長答弁のとおり、恒久的に多額の財源が必要となる無償化を岡谷市単独で実施することは困難である。また、この追加支援に

合わせた、学校給食費に対する保護者負担の更なる軽減策については、今回の補正予算では考えていない。

なお、市長公約の実現に向けて、新たな財源の確保などの取り組みを進めてまいりたいと考えている。

Q 財源については?

A 今回は国庫支出金を充当したが、今後については、現在、予算編成の作業中であり、国、県の動向をしっかりと注視しながら判断していきたい。

Q 郷土食の提供と物価高騰による食材の調達について、今年度は肉類、魚介類、乳製品等を始め食材価格全体が高止まりの傾向である。これまで栄養士が可能な範囲での共同調達や安価な食材への切り替えを行うなど、工夫して対応してきたが、今回の追加により今年度中は、食材費の値上がりに左右されることなく子どもたちに必要な給食の質と量を維持し、岡谷市の伝統であるおいしい給食を

提供できる見込みである。

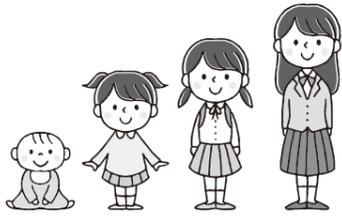
◆社会委員会での主な質疑応答

Q 子育て世帯価格高騰対策支援事業費の15歳以上、高校生等への支給の方法は?

A 児童手当を受給していない世帯、公務員や高校生のみを養育している世帯等については、児童手当受給世帯と同様に12月末頃申請書を発送し、1月下旬ごろまでに申請をいただければ2月の児童手当支給日に支給する。

また、申請の最終締め切りを3月15日としており、3月中には申請いただいた全ての世帯へ支給してまいりたい。

※質疑の後、討論採決が行われ、それぞれの委員会では原案のとおり可決されました。
※審議の結果全会一致で可決されました。



○令和5年第5回定例会(全会一致により可決された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第28号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第86号	財産の貸付について
議案第77号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	議案第87号	岡谷市スポーツ施設の指定管理者の指定について
議案第78号	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	議案第88号	岡谷市健康福祉施設の指定管理者の指定について
議案第79号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第11号)	議案第89号	損害賠償の額の決定について
議案第80号	令和5年度岡谷市病院事業会計補正予算(第2号)	議案第90号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第13号)
議案第81号	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	議案第91号	令和5年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第82号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第12号)	議案第92号	令和5年度岡谷市病院事業会計補正予算(第3号)
議案第83号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第93号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第14号)
議案第84号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	議案第94号	令和5年度岡谷市水道事業会計補正予算(第1号)
議案第85号	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	議案第95号	令和5年度岡谷市病院事業会計補正予算(第4号)

○令和5年 第5回定例会(陳情の審査結果)

陳情番号	件名	付議委員会	審査結果	陳情番号	件名	付議委員会	審査結果
陳情第10号	令和6年度市土木関係事業に係る要望書(小坂区)	産業建設委員会	採択	陳情第20号	令和6年度岡谷市土木関係要望箇所(今井区)	産業建設委員会	採択
陳情第11号	令和6年度土木要望書(間下区)	産業建設委員会	採択	陳情第21号	要望書(花岡区)	産業建設委員会	採択
陳情第12号	令和6年度土木関係要望事項について(岡谷区)	産業建設委員会	採択	陳情第22号	令和6年度土木関係要望書(新倉区)	産業建設委員会	採択
陳情第13号	令和6年度土木関係に関する要望書(下浜区)	産業建設委員会	採択	陳情第23号	陳情書(駒沢区)	産業建設委員会	採択
陳情第14号	市土木事業に係る要望書(小尾口区)	産業建設委員会	採択	陳情第24号	令和6年度土木関係要望書(鮎沢区)	産業建設委員会	採択
陳情第15号	道路・河川等土木関係要望書(新屋敷区)	産業建設委員会	採択	陳情第25号	令和6年度橋原区要望書(橋原区)	産業建設委員会	採択
陳情第16号	令和6年度市土木事業に係る要望書(上浜区)	産業建設委員会	採択	陳情第26号	令和6年度東郷区内土木等整備事業に関する陳情書(東郷区)	産業建設委員会	採択
陳情第17号	令和6年度土木関係要望書(小口区)	産業建設委員会	採択	陳情第27号	令和6年度岡谷市土木事業要望書(中屋区)	産業建設委員会	採択
陳情第18号	令和6年度岡谷市土木事業に係る要望書(小井川区)	産業建設委員会	採択	陳情第28号	令和6年度 岡谷市土木事業要望(中村区)	産業建設委員会	採択
陳情第19号	要望書(西郷区)	産業建設委員会	採択	陳情第29号	令和6年度土木関係要望(横川区)	産業建設委員会	採択

編集後記

いつも読んでいただきありがとうございます。私は2期連続でこの委員会に携わり、新たな委員長のもと製作に参加することになりました。表紙やその他の部分にも、さらに工夫を凝らし市民の皆さんに少しでも議員の活動や考えをわかりやすく伝えていけるよう努力してまいります。これからも一人でも多くの方に読んでいただくよう頑張ります。
山崎仁委員



ご意見・ご要望

市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けいたしますので、下記までお寄せください。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL23-4811 (内線1711) FAX22-6213

メール

gikai@city.okaya.lg.jp



岡谷市
今昔物語

故きを温ねて新しきを知る

みんなと歩んだ100年

岡谷駅の開業は、明治38（1905）年11月25日です。古くから天竜川沿いに製糸業が発展して、鉄道が開通する前から駅の設置が熱望され、生糸の積出し用に専用線路も敷設されて賑わっていました。令和3年には、岡谷駅に隣接して「岡谷市観光案内所」がオープンしました。



現在の岡谷駅



古い姿の岡谷駅
（岡谷市制施行50周年記念「岡谷の今昔」より）



平成28年以前の岡谷駅
（JR東日本長野支社提供）

高校生にも議会に興味を持っていただきたいという思いも込めて、「高校生が見つけた岡谷の魅力」をテーマに、議会広報誌の表紙の写真を撮っていただくことにしました。第2回目は岡谷東高校写真部の皆さんにお願いしました。現在の小島久樹先生は顧問になって4年目。その前に顧問を務めていた先生が写真をやっていた関係もあって「スマホはナシ」をルールにしたのだそうです。少しハードル高くない？と思っただものの写真部の部員は26人！数ある部活動の中でも大所帯ですが、充実した活動を展開しています。「みんなの写真を見せあつたりするのが楽しい」（小林紗菜さん）、「みんなで一緒に同じ場所に写真を撮りに行っても、雰囲気や個性が違って面白い」（川越陽奈さん）と和気あいあいとした雰囲気伝わってきます。写真好きの渡辺太郎議員も思わず前のめり。「自分の知らない岡谷のスポットに出会えるのも楽しい」（赤羽沙恵花さん）、「題材をどれにしようか考えたり、角度や色味を変えたりしながら、お気に入りの撮れたときはうれしい」（白鳥明音さん）。もう少しだけいいカメラが使いたいなあの夢にみんなが近づきたいと思いました。

高校生が見つけた岡谷の魅力

岡谷東高校写真部の
皆さんから多くの写真の
ご提供を頂きました。



岡谷東高校写真部の皆さん
左から顧問の小島久樹先生、
小林紗菜さん（2年）、川越陽奈さん（2年）、
赤羽沙恵花さん（2年）、白鳥明音さん（2年）



議会広報広聴委員会

- 委員長…小松 壮
- 副委員長…早出すみ子
- 委員…宇野香二
- 委員…今井浩一、渡辺太郎
- 委員…吉田 浩、山崎 仁

発行日：2024年（令和6年）1月25日発行 発行：岡谷市議会 編集：議会広報広聴委員会
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 ☎ 0266-23-4811（議会事務局内線：1711）URL <http://www.city.okaya.lg.jp/site/gikai/>

長谷川市議会事務局



印刷：株式会社美穂堂